



## アーカイブと公文書管理

小川 千代子

「アーカイブ」という言葉を日常的に目にするようになった。では、このアーカイブ、どんな意味があるのか。

ネットやブログの世界では、過去の記事をまとめたものをアーカイブとしている。パソコン内部では文書の属性のひとつにアーカイブがあり、保存されていることを意味する。では、アーカイブはもっぱらパソコン用語なのだろうか。

アーカイブは英語の *archive*、行政上の重要文書の保存場所の意味で、語源はギリシア語のアルケイオン、ラテン語アルキヴム。英和辞典では「公文書」「公文書保存所、公文書館」と説明され、より専門的には「公文書・記録管理局」という役所の意味がある。動詞で「保存する」という意味もある。フランス語のアルシーブ、ドイツ語のアルヒーフ、オランダ語のアルチーフ、ポルトガル語のアルキーボ、イタリア語のアルキビオ等、ヨーロッパ各国語に見られる。1873（明治6）年5月、岩倉使節団は、イタリア・ベネチアでアルチーフ（これはオランダ語!）を訪れ、紀元七百年以来の文書が保存されているさまを目の当たりにして「開文の至りなり」と感銘をうけたことが久米邦武編集の『特命全権大使米欧回覧実記』に記されている。

米国の国立公文書館=ナショナル・アーカイブズは1934年に設立された。岩倉使節団派遣の60年後のことである。当時の米連邦政府の公文書の保管状況は劣悪で、書庫火災も頻発したらしい。事態を心配した歴史学者らの強い要望をうけ、米国では古くなったものだけでなく、日々作成される新たな公文書の管理=記録管理も視野におさめた公文書館が作られた。合衆国建国後百六十余年が経過していた。何度かの大きな組織改編を経た米国国立公文書館、今では米国連邦政府の歴史的

価値ある公文書を保存し、世界中からやってくる利用者に提供している。日米外交交渉の記録発見の舞台となることもしばしばだ。

日本に国立公文書館が設けられたのは1971年、日本最初のアーカイブは1959年設立の山口文書館である。現在、内閣府の下には独立行政法人国立公文書館がおかれ、都道府県レベル30、市町村レベルでは東京都板橋区公文書館、神奈川県藤沢市文書館、栃木県小山市文書館など23の公文書館がある。だが、残念ながらどれも一般的知名度は高くない。全国歴史資料保存利用機関連絡協議会の運動により1987年、公文書館法が制定されたが、この法律の知名度もいまひとつだ。

最近になって社会保険庁の記録管理問題や自衛艦の航海日誌廃棄等の事件をきっかけに、日本でも公文書管理の重要性には昨今ようやく関心が集まってきた。福田前総理大臣肝いりで昨年度集中的に検討が進められた公文書管理法案は3月3日国会に提案された。日本のアーカイブと公文書管理の強化拡充のための法案として期待は大きい。国会審議に注目したい。

### ◆公文書管理法案

<http://www.cao.go.jp/houan/171/index.html>

### ◆公文書管理の在り方等に関する有識者会議

<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/koubun/index.html>

（柏市民新聞3月13日付記事に加筆再掲）

### DJI レポートの電子媒体への切り替えのお知らせ

『DJI レポート』は、次号 No.78 からは電子媒体による発行に切り替えます。今後ともどうぞよろしくお申し込み申し上げます。DJI メル友速報で発行をご案内しますので、この機会にどうぞお申し込みください。配信は無料です。申し込みはメールで [djiarchiv@ybb.ne.jp](mailto:djiarchiv@ybb.ne.jp) まで。

電子版 DJI レポートの URL : <http://www.geocities.jp/djiarchiv/>

2009年3月31日 国際資料研究所

## DJIの視点

## 公文書管理法の早期成立を望む

●2月18日は、ヘッドラインのニューストップが公文書法案となった日であった。2月18日朝、携帯にメール配信されたヘッドラインニュース、トップに「公文書法案」の文字があった。驚いた。ずさん管理には立ち入り調査＝公文書法案の全容判明、というのである。折しも世間は中川財務大臣、ローマでワインごっくん記者会見後の辞任に注目の最中、公文書法案はそれをしのいでトップニュースにおかれたのである。

●以下はその記事。

Date:2009/2/18, Wed 07:20

Subject: x x xヘッドライン[朝刊]

今日ニュース[朝刊]

◆ずさん管理には立ち入り調査＝公文書法案の…

◆「優先すべき問題と理解」＝北への圧力と交…

◆中川財務相は即時辞任を＝「首相が適切に判…

◆機密情報漏えい防止へ規制強化＝産業スパイ…

◆中川財務相が辞任…

⇒ニュース本文はコチラ

●「コチラ」の内容は次の通り。

ずさん管理には立ち入り調査＝公文書法案の全容判明－政府が今国会に提出予定の「公文書管理法案」の全容が17日、明らかになった。まちまちだった各省庁の文書作成・管理ルールを統一するほか、公文書の管理状況を年1回総理大臣に報告するよう義務付ける。ずさんな管理が分かれば国立公文書館がその省庁に立ち入り調査し、総理大臣が改善勧告できる規定も設けた。同法の制定は、薬害肝炎の症例リスト放置など省庁のずさんな文書管理を問題視した福田康夫前首相が提唱していた。[時事通信社]2009年02月17日 14:46更新

●さて、2月18日のニュース・ヘッドラインのトップに公文書管理法案公表、とうたわれたとなれば、公表された法案を見たいと思うのが人情。だが、この段階ではインターネットをどう探しても、公文書管理法案の内容を把握できず、結局2月20日に内閣府公文書管理検討室に電話取材した。

●2月20日段階では法案は未公表、現在政府案につき与党議員に説明を行っているところで、報道で言われている「法案公表」などの文言は、議員への取材等で報道関係者の目に触れたことをさす推測される、という回答。また、法案の公表時期は、(現内閣継続を前提に)政府案を決定して3月上旬には正式回答できそう。要望が強ければ追って検討室のホームページにもアップしたい、とも。言うまでもないが、一国民としてここは強くHPへのアップをお願い申しあげた。

●3月3日夕刻メール着信。内閣府公文書管理検

討室から法案HPアップの通知だった。こういうお知らせは、内容以前にその気配りが嬉しい。

「本日の閣議におきまして「公文書等の管理に関する法律案」が決定され国会提出の運びとなりましたので、取り急ぎお知らせいたします。同法案は、内閣府HP内に掲載しておりますので、そちらをご参照ください。掲載HPアドレス(本誌2頁参照)」

●3月16日には日経新聞が社説で法案を取り上げた。「やっと緒につく公文書管理」と題したあたり、政府の公文書法、一歩前進だがゴールはまだ先という評価と読める。

●3頁に紹介したが、去年12月に週刊ダイヤモンド誌に「国民を愚弄する官僚の悪弊 公文書隠蔽の呆れた実態」と題する辛口評論が掲載された。日本には公文書の保存に関する明確な規定がないため、官僚による公文書隠ぺいが横行している、中央官庁における公文書管理はずさんそのもの、と切り込む。

●この著者は3月17日開催の公文書管理フォーラム「市民のための公文書管理法の制定を」コーディネータをつとめた人物であることを、文献紹介記事をまとめる中で把握した。このフォーラムには、共産党から自民党まで、福田康夫氏も含め、多くの議員(秘書)が参加していた。政治家の関心は高い。

●翌3月18日民主党公文書管理法作業チームの会合を傍聴した。3月3日国会に提出された公文書管理法の政府案、「こんな法律ができれば、公文書は全部捨てられてしまう」という発言が飛び出した。

●3月12日面会した上川陽子議員は、現在公文書館推進議員連盟事務局長を務め、法律の成立に熱心だ。小淵大臣が現在この件につき猛勉強中とも聞いた。福田康夫前首相のがんばりも報道されている。

●野党側には法案の内容が手ぬるいとする意見が強い。中間報告、最終報告、法案と、有識者会議の運びを振り返ると、手ぬるい法案が作られるまでの政治と行政の駆引きも見え隠れする。これには法案作成サイドはさぞ苦勞されたのではないだろうか。

●どうも公文書管理法案という公文書の「子育て」方法をめぐり、与野党で食い違いがあるようだ。でも、子育てに正解などはない。公文書発生源＝日本国の公文書に関心を持ち続けることは、国の足跡を確保しようとするいわば「愛国心」の発露である。政治家も官僚も国民も、公文書管理法という子育て方法を早くとりまとめ、本来の課題、公文書の管理に真剣に取り組んでほしい。これが私の希望である。

(小川千代子)

## ◇◆◇アーキビストの消息(順不同、敬称略)◇◆◇ 凡例■機関●ひと

●アラン・ウェインスタイン氏 12月19日付で米国NARA、国立公文書記録管理院長官(アメリカ合衆国アーキビスト)引退。健康上の理由。副長官、アドリーヌ・トーマスが長官代理を勤める。

●古賀 崇氏 1月から京都大学図書館准教授

●訃報●

高岡 完治 氏(69才) 前国立公文書館長。2008年

12月30日逝去。1999年の国立公文書館法制定と改正、2000年の国立公文書館の独立行政法人化など、現在の国立公文書館の隆盛の基礎を築かれました。ご冥福をお祈り申し上げます。

前号の訂正 2008年4月1日付

●今井 規雄氏 埼玉県草加市こども課



## DJI 国際資料研究所の主な活動 2008 年 9 月 1 日～2009 年 3 月 21 日

## &lt;執筆&gt;

文書を残す法制度私論—公文書管理法施行 20 年、公文書管理法のゆくえ—『大学アーカイブズ』2008.10.31 No.39 全国大学史資料協議会東日本部会会報

歴史的資料の保存の課題 『ジュリスト』2009・3・1 No.1373

アーカイブと公文書管理 『柏市民新聞』2009 年 3 月 13 日付

『DJI レポート』No.75+76 20080930、国際資料研究所 <出講>

10 月 2, 9, 16, 23, 30 日、11 月 15, 22 日、12 月 4, 11, 18 日、1 月 8, 15, 18, 22, 29 日、「アーカイブの世界」、東京大学大学院情報学環

10 月 21, 28 日、11 月 11, 18, 25 日、12 月 2, 7, 9, 18 日、1 月 13, 20, 27 日、2 月 3, 10 日、文書館学、東京学芸大学 <講演>

9 月 27 日 特別講演「アーカイブとアーキビスト」藤女子大学、札幌

11 月 28 日 「文書を残す」湘南九市文書事務研究会、藤沢市役所

## &lt;主催&gt;

10 月 3 日 『アーカイブへのアクセス』出版祝い会、併せて『デジタル時代のアーカイブ』も、学会本館、東京

## &lt;参加&gt;

9 月 4, 25 日、10 月 16 日 公文書管理の在り方等に関する有識者会議傍聴、東京

9 月 10 日 全史料協役員会 神戸

9 月 22 日 米国情報公開法(FOIA)の現状と課題 米国大使館、東京

9 月 24 日 アーカイブスの世界研究会 07 打合せ、福武ホール、本郷

9 月 27 日 藤女子大学公開講座「土曜講座 2008」肥田美代子「未来への架け橋」—文字・活字文化の可能性— 札幌

10 月 3 日 国立公文書館秋の特別展内覧会

10 月 10 日 東京鯉光会例会、グラント・アーク半蔵門、東京

10 月 17 日 中島康比古氏講演、記録管理学会研究例会、国立情報学研究所、東京

10 月 24 日、11 月 26 日、12 月 17 日、1 月 21 日、3 月 25 日 記録管理学会文書管理専門職養成に関する研究会、ワンビシアーカイブズ、東京

10 月 22 日 公文書館における展示のあり方等に関するアドバイザー会議 国立公文書館四階会議室

11 月 1 日、12 月 13 日、連続シンポジウム「情報の海」東京大学情報学環福武ホール、本郷

11 月 12 日 全史料協大会、奈良ロイヤルホテル

11 月 19 日 国立国会図書館の開館 60 周年記念シンポジウム「知識はわれらを豊かにする—国立国会図書館が果たす新しい役割—」

11 月 28 日 千種台中学校還暦祝い会、とうふ屋うかい、芝公園、東京

12 月 2, 10 日 東京学芸大学附属図書館データベース講習会

12 月 19 日 寒川文書館運営審議会、神奈川県寒川町

1 月 16 日 (社)スウェーデン社会研究所「米欧画回覧の会」、レストランアラスカ、日比谷プレスセンター

1 月 21 日 国立国会図書館スウェーデン国立図書館長講演会

2 月 12 日 アーカイブの世界研究会 08 打ち合わせ、福武ホール、本郷

2 月 14 日 千種台中学校同期会、新宿三井ビル

2 月 16 日 全史料協議会資料保存委員会、香川県総合福祉センター

2 月 17 日 全史料協議会総務委員会、広島県立文書館

2 月 25 日 全史料協役員会、群馬県庁昭和館、前橋

2 月 27 日 内藤彰出版記念会、学士会館

3 月 1 日 第2回資料保存活用講演会「図書館・文書館の底力」佐藤勝巳氏(戸田市立図書館・郷土博物館長)

3 月 3 日、18 日民主党公文書管理作業チーム会合傍聴 衆議院第二議員会館

3 月 6 日 国立公文書館修復業務見学会、東京学芸大学文書館学

3 月 9 日 国立国会図書館調査研究報告会「電子書籍の流通・利用・保存」国立国会図書館、東京

3 月 11 日 原島博先生講演会、東京大学福武ホール

3 月 12 日 上川陽子議員に面会、衆議院第二議員会館

3 月 13 日 松本市文書館運営協議会、松本市文書館

3 月 17 日 公文書管理フォーラム「市民のための公文書管理法の制定を」衆議院第二議員会館、東京

3 月 21 日 AKIHIKO の会、日本出版クラブ、東京

## &lt;調査&gt;

11 月 4-7 日 国際連合ジュネーブ事務所図書館+アーカイブ、スイス

## &lt;見学&gt;

9 月 11 日 人と防災未来センター、神戸

10 月 12 日 新宿区立歴史博物館 新宿区名誉区民展

10 月 28 日 東京大学大学史史料室 「アーカイブの世界」授業

11 月 4 日 UNHCR アーカイブ、国際赤十字赤新月社博物館、ジュネーブ

11 月 6 日 オリンピックミュージアム、ローザンヌ

11 月 8 日 歴史美術博物館、宗教改革博物館

12 月 7 日 松本市文書館 「文書館学」授業

1 月 18 日 板橋区公文書館 「アーカイブの世界」授業

2 月 17 日 広島県立文書館展示室

2 月 25 日 群馬出身の首相展 群馬県庁昭和館

3 月 15 日 茨城県立歴史館平成 20 年度特別展「めでたくしーよろこびのこころとかたち」

## &lt;鑑賞&gt;

12 月 16 日 マルタ・アルグリッチ室内楽の夕べ 墨田トリフォニー・ホール、東京

12 月 18 日 シモン・ボリバルとベネズエラ・ユース・オーケストラ、東京国際フォーラム

2 月 28 日 アントニオ・ガデス舞踊団「カルメン」 文京シビックホール、東京